

第三者評価結果（児童自立支援助事業）

TYPE	種別：	児童自立生活援助事業	
	①第三者評価機関名		
ORG	社会福祉事業評価機構		a
	②施設名等		b
H1	名称：	自立援助ホーム ゆめじ	c
H2	施設長氏名：	山家 幸晟	a
H3	定員：	6名	名
H4	所在地(都道府県)：	広島県	
H5	所在地(市町村以下)：	大竹市玖波四丁目11番67号	
H6	T E L：	0827-28-6761	
H7	U R L：	http://www.toride2016.com/	

	③実施調査日		
H8	開始日	令和2年11月	西暦入力
H9	評価結果確定日		例) 2013/3/1

	④総評	
	<p>【特に評価が高い点】</p> <p>①子ども達の自主性を重視した支援体制 子ども達に、ルールや制約を設けず、自主性に任せる部分を重視し、場合によっては子ども同士の対話により解決を図るなど、エンパワメントを引き出す支援を展開されています。この支援の結果、課題を抱えた子ども達が安定して暮らせるようになり、その先の問題解決能力の向上に繋がっています。</p> <p>②子ども達とのコミュニケーション 複数の若い男性職員の配置もあり、子ども達との年齢も近いことから円滑で支援に効果的なコミュニケーションが可能な体制となっています。</p> <p>【改善が必要と思われる点】</p> <p>①職員の経験値やスキルの底上げ 職員の経験が浅く、児童福祉に関する知識や制度に関する理解を深める必要性について、運営者および現場の職員双方の共通認識として挙げられています。</p> <p>②マニュアル類の充実化</p>	
H10	⑤第三者評価結果に対する施設のコメント	
H11	<p>・初めて第三者評価を利用させていただきました。・施設での子どもたちに対しての支援の方針や取り組んでいる内容を評価していただけていると感じました。・マニュアル作成等の改善点は参考にさせていただき、より良いホームの運営が出来る様に取り組んでいきたいと思っています。</p>	

第三者評価結果（児童自立生活援助事業）

G1 I 福祉サービスの基本方針と組織
I-1 理念・基本方針

G2	(1) 理念・基本方針が確立されている。		第三者 評価結果
AP	①	理念が明文化されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 理念が文書（事業計画等の法人・事業者内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 理念から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	
AP	②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 基本方針が文書（事業計画等の法人・事業者内文書や広報誌、パンフレット等）に記載されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 基本方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	
TH	（特に評価が高い点、改善が求められる点） 理念については、パンフレットにも掲載されており、職員間の共通認識にも繋がっていることがヒアリングを通して理解できました。		
TT			

G1 I-1 理念・基本方針

G2	(2) 理念や基本方針が職員に周知されている。		第三者 評価結果
AP	①	理念や基本方針が職員に周知されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を会議や研修において説明している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知を目的とした実践テーマを設定して会議等で討議の上で実行している。	○

AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
AP	②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針をわかりやすく説明した資料を作成する等、より理解しやすいような工夫を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を利用者等に資料をもとに説明している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	入居前に施設での約束ごとについての説明を十分に行っておられます。入居時以降にも、周知状況を確認する機会を設けるなど、継続的な取り組みについての検討がなされることを期待いたします。		

I-2 事業計画の策定

G1	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
G2			
AP	①	中・長期計画が策定されている。	c
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	
AC		<input type="checkbox"/> 実施する福祉サービスの内容や、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにしている。	
AC		<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容になっている。	
AC		<input type="checkbox"/> 中・長期計画に基づく取組を行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
AP	②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
AC		<input type="checkbox"/> 事業計画には、中・長期計画の内容を反映した各年度における事業内容が具体的に示されている。	

AC		<input type="checkbox"/> 事業計画は、実行可能かどうか、数値目標等を設定することによって実施状況の評価を行えるかどうかについて配慮がなされている。	
AC		<input type="checkbox"/> 事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 中長期計画の策定はなされていません。理事長より今後の展望を伺いましたが具体的な構想もあり、まずは書面化に着手されることを期待いたします。		
TT			

I-2 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果
AP	① 事業計画の策定が組織的に行われている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 評価の結果に基づいて各計画の見直しを行っている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 一連の過程が一部の職員だけで行われていない。	○
AP	② 事業計画が職員に周知されている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 各計画を会議や研修において説明している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 各計画の進捗状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
AP	③ 事業計画が利用者等に周知されている。	c
AC	<input type="checkbox"/> 利用者等向けに各計画をわかりやすく説明した資料を作成する等によって、より理解しやすいような工夫を行っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 各計画を利用者等に説明している。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)	

単年度の事業計画は充実した内容で作成されており、評価を踏まえた翌年度の事業計画策定に繋がっていることが確認できました。自己評価において、周知面に課題があるとのことですので、今後の取り組みに期待いたします。

TT

G1

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

G2

(1) 管理者の責任が明確にされている。

第三者
評価結果

AP

①

管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。

b

AC

管理者は、自らの役割と責任について、文書化するとともに、会議や研修において表明している。

○

AC

管理者は、自らの役割と責任について、組織の広報誌等に掲載して表明している。

○

AC

平常時のみならず、有事（災害、事故等）における管理者の役割と責任について、明確化されている。

AP

②

遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

c

AC

管理者は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。

AC

管理者は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、リスト化する等の取組を行っている。

AC

管理者は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

TH

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

運営者側や現場の職員間において、管理者の役割や職責に関する認識は図られているようです。法令遵守に関する取り組みや勉強会への参加等に課題が残ります。

TT

G1

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

G2

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

第三者
評価結果

AP

①

質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。

b

AC

管理者は、実施する福祉サービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。

○

AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について、職員の意見を取り込むための具体的な取組を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
AP	②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けて、人事、労務、財務等の面から分析を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、上記について、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は、経営や業務の効率化や改善のために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	職員間のチームワークの発揮により、子ども達の自主性を重んじた支援の展開に繋がっています。経営面の分析等は、法人の運営者サイドで行っている側面が多く、職員会議などを通して職員間で共有されています。		

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

G1			第三者 評価結果
G2	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
AP	①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者数・利用者像等について、事業者が位置する地域での特徴・変化等を把握している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータ等を収集している。	○

AC		<input type="checkbox"/> 把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	<input type="radio"/>
AP	②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	c
AC		<input type="checkbox"/> 定期的にサービスのコスト分析やサービス利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 改善に向けた取組が、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。	
AC		<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
AP	③	外部監査が実施されている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や、公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、経営改善を実施している。	<input type="radio"/>
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 福祉サービスの認識や経営課題などはしっかりと認識されています。また経営面のコスト分析などは、法人の運営者サイドで行っておられます。		
TT			

II-2 人材の確保・養成

G1	(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
G2			
AP	①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や、人事管理に関する方針が確立している。	
AC		<input type="checkbox"/> 社会福祉士等の有資格職員の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> プランに基づいた人事管理が実施されている。	
AP	②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 人事考課の目的や効果を正しく理解している。	<input type="radio"/>

AC		<input type="checkbox"/> 考課基準を職員に明確に示すことや、結果の職員へのフィードバック等の具体的な方策によって客観性や透明性の確保が図られている。
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 支援の質を考慮され手厚い配置となるよう、人材の確保に努めておられます。年に2回の頻度で理事長の面談が行われ、職員の意識を高めるための働きかけも行われています。	
TT		

II-2 人材の確保・養成

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果
AP	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討する担当者を設置している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。	
AC	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。	
AC	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家を確保している。	○
AP	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b
AC	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 職員の悩み相談窓口を組織内に設置し、解決に向けた体制が整備されている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 職員の就業状況に対する満足度は、一定レベルをクリアしているものと捉えています。有給取得や勤務体制に対する満足度も高いことがヒアリングを通して理解できました。	
TT		

II-2 人材の確保・養成

G2	(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者 評価結果
AP	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 組織がめざす福祉サービスを実施するために、基本方針や中・長期計画のなかに、組織が職員に求める基本的姿勢や意識を明示している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 現在実施している福祉サービスの内容や目標を踏まえて、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める専門技術や専門資格を明示している。	
AP	② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。	
AC	<input type="checkbox"/> 個別の職員の技術水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画に基づき、実際に計画に従った教育・研修が実施されている。	
AP	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 研修を終了した職員が、研修内容を発表する機会を設けている。	
AC	<input type="checkbox"/> 報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。	
AC	<input type="checkbox"/> 評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。	
TH TT	<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 年に2回の頻度で法人内の研修が行われており、グループワークなど充実した内容であることがヒアリングから理解できました。今後は、職員育成や専門資格の取得について書面化し、計画的かつ意図的な人材育成体制の構築がなされることを期待いたします。</p>	

G1 II-2 人材の確保・養成

G2	(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者 評価結果
----	------------------------	-------------

AP	① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
AC		<input type="checkbox"/> 実習生の受入れに関する基本姿勢を明文化している。
AC		<input type="checkbox"/> 実習生の受入れについて、受入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。
AC		<input type="checkbox"/> 受入れにあたっては、学校との覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。
AC		<input type="checkbox"/> 実習指導者に対する研修を実施している。
AC		<input type="checkbox"/> 実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。
AC		<input type="checkbox"/> 学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実習の受け入れ可能な条件が整ったため、大学等へ受け入れのアクションを起こされるとのことでした。質の高い実習プログラムとなるよう、充実した内容のマニュアル作成にも期待いたします。	
TT		

II-3 安全管理

G1	① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	第三者 評価結果
G2		(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。
AP		b
AC		<input type="checkbox"/> 管理者は利用者の安全確保の取組について、リーダーシップを発揮している。
AC		<input type="checkbox"/> 利用者の安全確保に関する担当者を設置している。
AC		<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に安全確保に関する検討会を開催している。
AC		<input type="checkbox"/> 検討会には、現場の職員が参加している。
AC	<input type="checkbox"/> リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	

AC		<input type="checkbox"/> 事故発生対応マニュアル等を作成し職員に周知している。	
AP	②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者および職員の安否確認の方法が決められ、全職員に周知されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 食料や備品類などの備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
AC		<input type="checkbox"/> 地元の消防署、警察、自治会など連携するなど工夫して訓練を実施している。	
AP	③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 利用者の安全を脅かす事例の収集を、その仕組みを整備した上で実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 収集した事例について、職員の参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 虐待防止や事故報告に関するマニュアルを作成され、リスクマネジメント体制の構築に努めておられます。実際の現場運営に即した内容の体制構築となることを期待いたします。		
TT			

II-4 地域との交流と連携

G1	(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
AP	①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	b

AC		<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> 利用者が地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが援助を行う体制が整っている。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> 事業者や利用者への理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けている。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> 利用者の買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="radio"/>
AP	②	事業者が有する機能を地域に還元している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 専門的な技術講習会や研修会、地域住民の生活に役立つ講演会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	<input type="radio"/>
AC		<input type="checkbox"/> 相談窓口、支援サークル等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業者で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
AP	③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
AC		<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
AC		<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
AC		<input type="checkbox"/> ボランティアに対して必要な研修を行っている。	<input type="radio"/>
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 地域のゴミ拾いへの職員の参加や、子ども達が地域の行事に招かれるなど、地域に密着した運営を目指されています。		
TT			

II-4 地域との交流と連携

(2) 関係機関との連携が確保されている。

第三者
評価結果

AP	<p>①</p> <p>必要な社会資源を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示し、当該地域の関係機関・団体について、その機関・団体との連携の必要性を含めたリストや資料を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員会議で説明する等職員間で情報の共有化が図られている。</p>	b
AC		
AC		
AP	<p>②</p> <p>関係機関等との連携が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を積極的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。</p>	b
AC		○
AC		
AC		○
TH	<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>法人の取り組みとして、地域での学習支援や子ども食堂・宅食など食事の提供があり、施設の職員も交代で協力されています。</p>	
TT		

II-4 地域との交流と連携

G1	(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果
G2			
AP	<p>①</p> <p>地域の福祉ニーズを把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携に基づき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関と定期的な会議を開催する等によって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 常日頃からの地域住民との交流を通して、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。</p>	b	
AC		○	
AC		○	
AC			
AP	<p>②</p> <p>地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいて実施した具体的な事業・活動がある。</p>	b	
AC		○	

AC		<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズに基づいた具体的な事業・活動を、中・長期計画や事業計画の中に明示している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	地域の福祉ニーズを把握され、子ども食堂や宅食のサービスなどを行っておられます。今後、子ども食堂を利用される子ども達の年齢層に合わせ、学習支援として塾を開催されるとのこと。また、現時点で家庭教師としての学習支援も行われています。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

G1			第三者 評価結果
G2	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
AP	①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
AC		<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者を尊重したサービス提供に関する基本姿勢が、個々のサービスの標準的な実施方法等に反映されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 虐待防止について職員に周知徹底している。	○
AP	②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアル等の整備や、施設・設備面での工夫等、組織として具体的に取り組んでいる。	
AC		<input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護に関する基本的知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・意識、利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等に基づいたサービスが実施されている。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	施設への入居に至った経緯などを鑑みて制約やルールを設けるのではなく、約束ごとを守り話し合いで解決していくことを重視した支援の在り方に対する共通認識が図れており、子ども達の理解にも繋がっているという印象を受けました。		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

G2	(2) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者 評価結果
AP	①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	b
AC		<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査を定期的に行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者満足を把握する目的で、利用者への個別の相談面接や聴取を定期的に行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者・担当部署の設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
AC		<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果に基づいて具体的な改善を行っている。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	満足度に関する調査などは未実施であるが、子ども会議の開催などを通して満足度の上昇に努めておられます。食事の時間など、普段から子どもたちと個別に話をする機会も多く、コミュニケーションを図るなかで思いを汲み取っておられます。		

G1 Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

G2	(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果
AP	①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 利用者が、複数の相談方法や相談相手の中から自由に選べることを、わかりやすく説明した文書を作成している。	
AC		<input type="checkbox"/> 利用者等に、その文書を配布したり、わかりやすい場所に掲示している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 相談や意見を述べやすいようなスペースに配慮している。	
AP	②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）を整備している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みを説明した資料を利用者等に配布、説明しているとともに、わかりやすく説明した掲示物を掲示している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 利用者等に対して、苦情記入カードの配布や匿名アンケート実施など利用者等が苦情を申し出やすい工夫を行っている。	

AC		<input type="checkbox"/> 苦情を受けつけて解決を図った記録が適切に保管されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 苦情への検討内容や対応策を、利用者等に必ずフィードバックしている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 苦情を申し出た利用者等に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している。	○
AP	③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 意見や提案を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について規定したマニュアルを整備している。	
AC		<input type="checkbox"/> 対応マニュアルに沿った取組がなされており、意見や提案のあった利用者には、検討に時間がかかる場合も状況を速やかに報告している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 対応マニュアルの定期的な見直しを行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 意見等を福祉サービスの改善に反映している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	子ども達からの要望や意見に対しては、小規模な特性を生かし迅速に検討され、レスポンスの早い対応を行ってまいります。苦情解決の第三者委員の方と子ども達が一緒に食事をするなど、交流の機会も設けてまいります。		

Ⅲ-2 サービスの質の確保

G1	Ⅲ-2 サービスの質の確保		
G2	(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者 評価結果
AP	①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 定められた評価基準に基づいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
AC		<input type="checkbox"/> 評価に関する担当者が設置されている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として定められ実行されている。	○
AP	②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	b

AC		<input type="checkbox"/> 職員の参画により評価結果の分析を行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> 分析した結果やそれに基づく課題が文書化されている。	
AC		<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善実施計画を策定する仕組みがある。	○
AC		<input type="checkbox"/> 改善策や改善実施計画の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	第三者評価の受審は今回が初めてとなります。今回の評価を踏まえて、具体的に評価結果を分析するための仕組みを構築していかれるとのこと。また、定期的な自己評価を行う体制の構築がなされることを期待いたします。		

III-2 サービスの質の確保

		第三者 評価結果
G2	(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	
AP	① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	c
AC	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
AC	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、利用者尊重やプライバシー保護の姿勢が明示されている。	
AC	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
AP	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
AC	<input type="checkbox"/> サービスの標準的な実施方法の見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)	

TT 標準的な実施方法については書面化されていないだけで、理念や支援の方針についての共有ができており、有効な支援に繋がっているものと思われます。このことから、現在行われている支援について書面化・見直しの仕組みを確立することで、高い評価になるかと思われますので、早速着手していただくことを期待いたします。

G1 Ⅲ-2 サービスの質の確保

G2 (3) サービス実施の記録が適切に行われている。	第三者 評価結果
<p>AP ① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> サービス実施計画に基づくサービスが実施されていることを記録により確認することができる。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導などの工夫をしている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>AP ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 利用者の記録の保管、保存、廃棄に関する規程等を定めている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 利用者等から情報の開示を求められた場合に関する規程を定めている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護と情報開示の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護法を理解し、遵守している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>AP ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。</p> <p>AC <input type="checkbox"/> 情報共有を目的として、ケアカンファレンスの定期的な開催等の取組がなされている。</p>	<p>b</p> <p>○</p>

TH (特に評価が高い点、改善が求められる点)

サービスの実施記録については、詳細で分かりやすい記載でした。職員会議等で子ども達の状況について密な検討をして、レスポンスの早い対応を実践されています。

TT

G1

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

G2

(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

第三者
評価結果

AP

①

利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。

b

AC

インターネットを利用して、組織を紹介したホームページを作成し公開している。

○

AC

理念や、実施する福祉サービスの内容を紹介した資料を、公共施設等多数の人が手にすることができる場所に置いている。

AC

事業者を紹介する資料は、言葉づかいや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。

○

AC

見学、体験入居、一日利用等の希望に対応している。

○

AP

②

サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。

b

AC

サービス開始時に、サービス内容や料金等が具体的に記載された重要事項説明書等の資料を用意して、利用者等に説明している。

○

AC

説明にあたっては、利用者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。

○

AC

サービス開始時には、サービスの内容や料金等について、利用者等の同意を得た上でその内容を書面で残している。

○

AC

利用契約が必要な場合は、必ず契約書を取り交わしている。

AC

重要事項説明書等の資料や契約書の内容は、利用者にもわかりやすいように工夫している。

○

TH

(特に評価が高い点、改善が求められる点)
活動の広報については、ホームページなどを活用して行われています。実際に閲覧してみましたが、一般の方が閲覧しても、どの様な活動をしているのかイメージしやすい内容であると思われます。また、施設の見学や一日利用などは積極的に受け入れを行っておられます。

TT

G1

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

G2	(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	第三者 評価結果
AP	① 事業者の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に 配慮した対応を行っている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 他の事業者や地域生活への移行にあたり、サービスの継続性に配慮 した手順と引継ぎ文書を定めている。	
AC	<input type="checkbox"/> サービス終了した後も、利用者等が相談できるように担当者や窓口 を設置している。	○
AC	<input type="checkbox"/> サービス終了時に、利用者等に対し、その後の相談方法や担当者につ いて説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 法人内にアフターケアを専門に行う人材の配置や、退去後の子ども達の雇用の受け皿として8社との連携 協定を締結されています。	
TT		

G1 III-4 サービス実施計画の策定

G2	(1) 利用者のアセスメントが行われている。	第三者 評価結果
AP	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b
AC	<input type="checkbox"/> 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式に よって把握し記録している。	
AC	<input type="checkbox"/> アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている。	○
AC	<input type="checkbox"/> さまざまな職員（組織以外の関係者も）が参加して、アセスメント に関する協議を実施している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 入居時の情報を基に、職員会議などで情報を共有し、担当者が自立支援計画を策定されるという手順と なっています。アセスメントシートは、現段階で使用されていませんが、今後導入の有無について検討し ていただくことを期待いたします。	
TT		

G1 III-4 サービス実施計画の策定

G2	(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	第三者 評価結果
AP	① サービス実施計画を適切に策定している。	b

AC		<input type="checkbox"/> サービス実施計画策定の責任者を設置している。	
AC		<input type="checkbox"/> サービス実施計画を策定するための合議、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> サービス実施計画どおりにサービスが行われていることを確認する仕組みが構築されるとともに、機能している。	
AP	②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b
AC		<input type="checkbox"/> サービス実施計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
AC		<input type="checkbox"/> 見直しによって変更したサービス実施計画の内容を、職員に周知する手順を定めて実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> サービス実施計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	自立支援計画は、入居前の情報および職員会議などで密な検討の下、策定や見直しが行われています。また、手順についての書面化も行われていますが、緊急に変更する場合の仕組みについて検討していただくことを期待いたします。		

(別紙)

第三者評価結果 (児童自立援助事業)

A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重		第三者 評価結果	
AP	①	入居に際して、ホームでの生活や約束ごとを説明し、子どもたちがよく理解したうえで、自らの意思によって入居申込みができるように配慮している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 入居の際に、ホームでの生活状況や約束ごとを十分に説明している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 説明だけでなく事前見学や体験入居等の機会を設け、子どもたちがホームでの生活状況等を深く理解したうえで入居申込みができるよう配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子ども自身の自己決定権を尊重している。	○
AP	②	入居に際しての約束は、子どもの自立心を育むための目的と内容で行われている。	b
AC		<input type="checkbox"/> ホームでの生活についての約束は、形式にこだわらず、子どもが十分に理解し納得した上で交わしている。	

AC	<input type="checkbox"/> 入居後においても、適時子どもと約束の内容について確認している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> この約束は「子どもの自立心を育むため」のものであり、約束を守れなかった時にペナルティーを科すような内容としていない。	
AP	③ ホームの行う援助を説明し、子どもが援助内容を決定するプロセスに主体的に参加できるようにしている。	b
AC	<input type="checkbox"/> ホームの提供する援助内容・方法について事前に子どもに十分説明している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 子どもに必要な情報を提供し、子どもが主体的に選択できるようにしている。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 子どもの発達段階や能力に応じて自己決定できる力量の形成に取り組んでいる。	
AC	<input type="checkbox"/> 子どもの自己決定の重要性について職員全員が十分認識している。	<input type="radio"/>
AP	④ 職員との緊密な関係を通し子どもの自尊心が育まれるよう支援している。	b
AC	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼感を獲得するなど良好な人間関係を築くために、職員と子どもとが個別的にふれあう時間を確保している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 職員は、子どもから信頼感を持たれるよう、子どもの抱えているさまざまな問題・課題を含めて子どもを理解するよう意識的に努力している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 喧嘩など子どもの間でトラブルが生じた時、基本的には子ども同士で関係を修復できるよう支援している。	
AC	<input type="checkbox"/> 三つ（工との関係、同年齢との関係、下との関係）の人間関係を日常的に経験できる生活環境を用意するなど、人格の尊厳を理解し、自他の権利を尊重できる人間性を育成するよう努めている。	<input type="radio"/>
AP	⑤ 本人に出生や生い立ち、家族の状況等を伝える場合には、本人が理解できるように配慮している。	b
AC	<input type="checkbox"/> 可能な限り事実を伝えようと努めている。	
AC	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合は、子どもの理解力や心理状況等を考慮し、丁寧に対応している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	<input type="radio"/>
AC	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身や家族のことを知ることで強い心理的苦痛を持つ場合があることを十分に認識し、子どもがその情報を整理できるよう、十分なケアを提供している。	<input type="radio"/>
AP	⑥ 体罰を行わないように徹底している。	a
AC	<input type="checkbox"/> 体罰の禁止を職員に徹底するため、日常的に会議等で体罰を取りあげ、行われていないことを確認している。	
AC	<input type="checkbox"/> 「就業規則」等の規程に体罰の禁止を明記している。	<input type="radio"/>

AC	<input type="checkbox"/> 職員による体罰の禁止について、子どもや保護者に周知している。	
AC	<input type="checkbox"/> 具体的な例を示して体罰を禁止している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 体罰の起こりやすい状況や場面について、研修や話しあいを行い、体罰を伴わない援助方法を習得できるようにしている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 体罰があった場合を想定し、管理者が職員・子ども双方にその原因や体罰の方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	
AC	<input type="checkbox"/> 自傷行為や他者への加害行為を阻止するための方法について検討し、適切に対応している。	○
AP	⑦ 不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
AC	<input type="checkbox"/> 研修などを通じ、言葉による暴力や人格的辱め、無視・脅し等の心理的虐待、セクシャルハラスメント等不適切な関わりが子どもにどのような心理的ダメージを与えるかを職員が十分に認識できるよう取り組み、その防止を職員に徹底している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりの防止について、具体的な例を示して、子どもに周知している。	
AC	<input type="checkbox"/> 職員の不適切な関わりがあった場合、子どもが内外に報告できる仕組みが整っている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりに迅速に対応できるよう、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取りあげ、行われていないことを確認している。	
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりの起こりやすい状況や場面について、研修や話しあいを行い、これによらない援助のあり方を習得できるようにしている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりの防止の視点から、職員体制（配置や担当の見直し等）を検討している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりの防止の視点から、密室・死角等の建物構造の点検と改善を行っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりを発見した場合は記録し、必ず管理者等に報告することが明文化されている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 不適切な関わりがあった場合を想定し、管理者が職員・子ども双方にその原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行うような仕組みがつけられている。	○
AC	<input type="checkbox"/> なお、平成20年児童福祉法改正において、被措置児童等虐待の規定が盛り込まれました。自立援助ホームについては、対象事業者に含まれていませんが、「被措置児童等虐待対応ガイドライン」（平成21年3月31日 雇児福発0331002・障障発0331009 各都道府県知事・各指定都市市長・各児童相談所設置市市長・各民生主管部（局）長宛 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課長・社会・援護局障害保健福祉部障害保健福祉課長連名通知）において、対象事業者の対応に準じ、今回の制度化の考え方を踏まえた対応をするものとされています。	
AP	⑧ 子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。	a

AC		<input type="checkbox"/> ホームにおいて宗教活動を強要していない。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもと保護者の個別的な宗教活動は尊重している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の宗教活動において、他の子どもや保護者の権利を妨げないよう配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 保護者の宗教活動によってその子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	制約やルールをあまり設けることなく、最低限の約束ごとを守ることもしっかりと認識してもらい、子ども達の自主性に任せ、時に話し合いで解決することを説くなど、エンパワメントを引き出すよう働きかけを行ってまいります。子ども達と職員との年齢差も近く関係性も良好となっており、質の高い支援が展開されています。		

G1 A-2 日常生活支援サービス

G2	2-(1) 援助の基本	第三者 評価結果
AP	① 子どもと職員の信頼関係を構築するために、受容的・支持的なかわりを行っている。	a
AC	<input type="checkbox"/> 子どもに対する受容的・支持的関わりを心がけている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 子どもの視点に立って、個々の子どもの気持ちを汲み取っている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 職員と子どもが個別に関わりを持つ時間を確保している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 小集団での養育が行われている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 子どもが相談しやすいような働きかけを意識的に行っている。	○
AP	② 子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている。	c
AC	<input type="checkbox"/> 子どもに問題行動等があった場合、単にその行為を取りあげて制限するのではなく、背景にある心理的な問題の理解に努めている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 子どもの生活を束縛するような管理や操作をしていない。	
AP	③ あらゆる社会資源と連携しながら、子どもの自立を支援するためソーシャルワークを行っている。	b

AC		<input type="checkbox"/> 入居した後も継続したアセスメントを行い、必要に応じて関係諸機関と連携しながら子どもの自立を支援している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 支援計画（ケアプラン）を他機関との連携を基に作成している。	
AC		<input type="checkbox"/> 子どもに関係諸機関との連携の必要性を理解できるように説明し、子どもが納得したうえで連携を取っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 日ごろから関係諸機関との関係づくりを心がけている。	
TH	<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点）</p> <p>制約やルールをあまり設けていない状況の中で、子ども達が最低限の約束ごとが守れていない現状もあり、前述した支援方針のなかで如何にルールを守ることができるように導いていくか？といった、支援のあり方についても検討の余地があるかと思われます。</p>		
TT			

G2	2-（2）食生活		第三者 評価結果
AP	①	バランスのとれた食事に配慮し、食卓が安心感を得ることのできる場所となるよう配慮している。	c
AC		<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれている。	
AC		<input type="checkbox"/> 温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 職員や他の子どもと楽しく対話ができる場所となるよう工夫している。	
AC		<input type="checkbox"/> 陶器の食器等を使用したり盛りつけやテーブルの飾りつけを工夫するなど、食事を美味しく食べられるように工夫している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの個人差や子どもの体調、疾病、アレルギー等に配慮した食事を提供している。	
AC		<input type="checkbox"/> 好き嫌いをなくす工夫や偏食指導については、無理がないよう配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 職員や他の子どもと楽しく会話できる環境を整えている。	
AC		<input type="checkbox"/> 職員が日常的に、調理技術の向上や献立の多様化に努めている。	
AP	②	子どもの生活時間にあわせた食事の時間を設定している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 朝食、昼食、夕食それぞれの食事の時間が子どもの基本的な生活習慣の確立につながるよう設定している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 学校や就労状況など子どもの生活時間に応じて、食事の時間以外の時間でも個別に対応している。	○

AC		<input type="checkbox"/> 電子レンジや保温庫、保冷库等を用意し、食事の時間以外にもおいしく食べられるよう配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもが一人だけで食卓につくといいことがないよう配慮している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	食事提供時間については、アルバイト等で帰宅時間がそれぞれ違うなかで、個々にみあった時間帯での提供ができており、常に職員が見守ることのできる体制となっています。		

G2	2 - (3) 衣生活		第三者 評価結果
AP	①	衣服は清潔で、TPOに応じたふさわしい服装となるよう助言している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 衣服は常に清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用するよう助言している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 年齢に応じて、TPOに応じた服装ができるよう助言している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 下着を毎日取り替えることや、汚れた時などの着替えについて助言している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	洗濯のルールについては、子ども達が話し合った結果ルール化されています。TPOに合わせた服装で過ごせるよう、日々助言されています。		

G2	2 - (4) 住生活		第三者 評価結果
AP	①	ホーム全体は、生活の場としての安全性や快適さを配慮したものにしている。	c
AC		<input type="checkbox"/> 子どもが小集団で快適に生活できる環境づくりに配慮している。	
AC		<input type="checkbox"/> トイレ、洗面所等は性別や年齢に応じて使いやすいよう配慮している。	
AC		<input type="checkbox"/> 必要に応じて、冷暖房設備を設置している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもが私物を収納できるよう個々にロッカー、タンス等を整備している。	○

AC		<input type="checkbox"/> 日常的な清掃や大掃除を行い、軽度な修繕を迅速に行っている。	
AC		<input type="checkbox"/> くつろげる空間を確保するよう努めている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 必要に応じて、入浴やシャワーが利用できるようにしている。	○
AP	②	居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 居室の整理・整頓、掃除の習慣を身につけられるよう援助・指導している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	共用部分は職員により掃除が行われていますが、施設見学により清潔な空間であることが確認できました。職員はそれぞれの居室内に、あまり立ち入らないようにされていますが、整理整頓の声掛けを適宜行われています。		

G2	2 - (5) 衛生管理、健康管理、安全管理		第三者 評価結果
AP	①	身体の健康を自己管理できるよう援助している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 職員は、子どもの健康状態や、睡眠や食事などの生活状況を把握している。	○
AC		<input type="checkbox"/> うがいや手洗いの習慣を養うように援助・指導している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 寝具の日光消毒や衣類などを清潔に保つなど、健康管理ができるよう援助・指導している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 洗面、整髪、ひげそり、歯磨き、爪きり等身だしなみについて、自ら行えるよう援助・指導している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 危険物の取扱いや危険な物・場所・行為から身を守るための援助・指導している。	○
AC		<input type="checkbox"/> ひげそり、カミソリ等感染のもととなる物は自分のものを使うよう援助・指導している。	
AP	②	一人ひとりの子どもの健康を管理するとともに、必要な場合には医療機関等を利用するなど適切に対応している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察している。	
AC		<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して話しあいや情報共有などを行い、知識を深める努力をしている。	○

AC		<input type="checkbox"/> 服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬を確かめている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう説明している。	
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの心身の健康に関する問題への対応のために、精神科を含む特定の医療機関と連携がとれるようにしている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	必要な際には、医療機関への送迎や受診の動向なども行っておられます。現時点で継続的な受診を必要とする子どももおらず、提携する医療機関も特にないとのことですので、今後は連携する医療機関の開拓など、医療連携体制の構築が課題の一つになってくるかと思われます。		

G2	2 - (6) 問題行動に対する対応		第三者 評価結果
AP	①	子どもの問題行動に適切に対応し、その理由を子どもに分かるよう説明している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもについて、あらかじめ職員間で情報を共有し、連携して対応できるようにしている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 問題行動のある子どもの問題となる行動を観察・記録し、誘因や刺激、人的・物的環境との因果関係を分析している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 職員の研修等を行い、問題行動に対して適切な援助ができるようにしている。	
AC		<input type="checkbox"/> 問題行動に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための体制を整えている。	
AC		<input type="checkbox"/> 必要に応じ、児童相談所、司法機関、専門医療機関と協力し、対応している。	
AC		<input type="checkbox"/> 周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
AP	②	ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようホーム全体に徹底している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 職員は、日頃から他人に対する配慮の気持ちや接し方の模範を示している。	
AC		<input type="checkbox"/> 人権に対する子どもの意識を育むよう支援している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、ホーム内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方についても点検している。	
AC		<input type="checkbox"/> 課題がある子ども、入居間もない子どもの場合は観察を密にし、個別援助を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、管理者が中心になり、全職員が適切に対応できる体制となっている。	

AC		<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が困難と判断した場合には、児童相談所、司法機関等に協力を要請するようにしている。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	サービスの実施記録とは別に、かかわりの記録をとり、関わりの難しかった事象や場面を研修等で振り返りを行う機会を設けています。		

G2	2 - (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活		第三者 評価結果
AP	①	子ども自身が自らの生活全般について考え、主体性をもって生活ができるよう援助している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 子ども自身が自らの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるよう援助している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの自己肯定感、自己表現力などが育つよう配慮している。	
AC		<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりが失敗する権利をも持っているということを認識しながら援助している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 目標実現に向かって発展していけるよう、子どもの主体性を尊重しつつ、過保護にならないよう援助している。	○
AP	②	休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの興味や趣味にあわせて、自発的活動ができるよう配慮している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子ども（外国籍の子ども等）の生活文化を保障し、自由に活動ができるようにしている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもが外部のサークル活動やレクリエーション等に参加することを望む場合、可能な限りそれに応えている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの趣味に応じて、外部の文化・スポーツ活動への参加や習いごとを認めている。	○
AP	③	金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 金銭を自己管理できるよう援助している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 無駄づかいをやめ、節約したことによる効果が実感できるようなお金の使い方を勧めている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 経済観念や金銭感覚が身につくよう相談・援助・指導している。	○
AC		<input type="checkbox"/> こづかいの使途については、子どもの自主性を尊重し、不必要に制約していない。	

AC		<input type="checkbox"/> 一定の生活費の範囲で生活することを学べるよう援助している。	○
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	日常の支援方針においても、子ども達の自主性を尊重した関わりを実践されていると判断できます。金銭管理ができない子どもに対してどの様に支援していくのかが、今後の課題の一つとして上げられます。		

G2	2 - (8) 社会生活支援 (学習支援、進路指導等)	第三者 評価結果
AP	① 進学を希望する子どもには、学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	a
AC	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるように受験生のための環境づくりなどの配慮をしている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 年齢や理解力に応じて、自分で学習計画が立てられるなど、学習習慣が身につくように助言している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 学校教員と十分な連携をとり、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。	○
AP	② 社会生活を通して、子どもが人格の尊さを学び、自分や他人の権利を尊重し、ともに生きることができるよう支援している。	b
AC	<input type="checkbox"/> 子どもの勤務先と連絡を取りあいながら見守っている。	
AC	<input type="checkbox"/> 職場で起こったことによく耳を傾け、必要な時には助言している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 友人や、交際相手のことで相談があった場合は、親身になって相談にのる。	○
AC	<input type="checkbox"/> 機会があれば差別問題や弱者に対する考え方などの会話をしている。	
AP	③ 性について正しい知識を身につけ、お互いの人格を尊重しあえるような異性関係が築けるよう支援している。	b
AC	<input type="checkbox"/> 性に関する子どもの疑問や不安にこたえている。	○
AC	<input type="checkbox"/> 年齢相応で健全な異性とのつきあいができるよう子どもたちに話している。	○
AC	<input type="checkbox"/> 性教育のカリキュラムを用意し、正しい性知識を得る機会を設けている。	
AC	<input type="checkbox"/> 性教育について職員間で話し合っている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)	

可能な限り子ども達の希望する進学を支援されています。また、必要に応じて子どもを学校まで送迎するなどの対応も行われています。

TT

G2	2 - (9) メンタルヘルス	第三者 評価結果
AP	① 虐待を受けた子どもなど心理的なケアが必要な場合は、関係機関と連携している。	b
AC	□心理的な支援を必要とする子どもについて、関係機関と連携した取組を行っている。	○
AC	□日常生活の中で、心理的な援助が行える体制ができている。	
AC	□必要に応じて臨床心理の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
AC	□心理的なケアが必要な子どもへの対応に関する研修等を受けている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点) 週に一回心理士に来てもらい、子どもの精神的ケアに参加してもらっています。職員に対しては子ども達への関りのアドバイスや、時に職員のメンタルフォローも行っておられます。	
TT		

G2	2 - (10) 家族とのつながり	第三者 評価結果
AP	① 児童相談所や関係諸機関と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制ができている。	b
AC	□家族との関係調整については、必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
AC	□ホームと家族が信頼関係を構築できるよう努めている。	○
AC	□親との面接などを通して家族に働きかけ、親子関係の継続や修復に努めている。	
AC	□子どもに関する情報を家族に伝える場合には、子どもの意向を考慮して行っている。	○
AC	□面会、外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、家族からの不適切な関わりを発見に努めている。	○
AC	□子どもが家族との交流を望む場合、積極的に支援している。	○

AP	②	子どもにとって家族関係の調整が必要な場合は、状況を把握して、面会、外出、一時帰省などを行っている。	a
AC		<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅については、状況を把握したうえで実施している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 子どもが家族との交流を希望しない場合は、その意思を尊重している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 虐待を受けた子どもなど配慮が必要な子どもには、職員間で検討し、ときには児童相談所とも十分に協議し、慎重に家族関係を調整している。	○
AP	③	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの危険性がある場合、関係諸機関との連携により、子どもの権利と安全が守られるよう取り組んでいる。	b
AC		<input type="checkbox"/> 強引な引き取りへの対応について、職員に周知徹底している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 親からの引き取りについて、児童相談所、家庭裁判所と連絡・調整し適宜対応している。	
AC		<input type="checkbox"/> 緊急時には協力を依頼できるよう、警察との連携を図っている。	
TH	(特に評価が高い点、改善が求められる点)		
TT	帰省や外泊は子ども達の意思を尊重し可能な限り子ども達に機会の提供に努めておられます。その際に、児童相談所との連携や、家族とのコミュニケーションも重要視されており、また対応が困難な家族には窓口を一本化し、時間や担当者を決めて対応されています。		

G2	2 - (11) 退居の決定・退居後のかかわり		第三者 評価結果
AP	①	退居後の生活の計画が作成され、子どもと退居後の生活を話しあった上で退居を決定している。	a
AC		<input type="checkbox"/> 子どもの自立への気持ちをもとに、退居にむけた取組を行っている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 退居後の生活について計画を作成している。	○
AC		<input type="checkbox"/> 退居後の生活について子どもと十分に話しあっている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 退居後のフォローアップ体制が整えられ、子どもに提示している。	
AP	②	退居後の子どもに継続的に支援している。	b
AC		<input type="checkbox"/> 退居後の継続的な支援の一環として、ホーム側から電話を入れたり、訪問をするなどしている。	○
AC		<input type="checkbox"/> 退居後の子どもの相談などに、適時適切に応じている。	○

AC

退居後、いつでもホームを訪れることができることを説明し、そのための受入れ態勢をホームや職員が作っている。

○

AC

子どもがホームとの関係を断ち切らない限り、ホーム側から子どもとの関係を断ち切ることはないようにしている。

○

TH

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

TT

アフターケアについては特に尽力されています。法人内にアフターケアを専門に行う人材の配置や、退去後の雇用の受け皿として8社との連携協定を締結されています。また、ステップハウスの確保もされています。

退居児童に関しては職員が連絡が取れないなどの状況があればホームの子どもに協力を求めたり、SNSを活用して情報を集め対応されています。